

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

作成主管課	都市計画課
	企画政策課 市民活動課
関係課	管理課
	まちづくり推進課

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり
	小政策	交流と地域の力を高める土地利用を進めます
現況と課題	駅橋上化、高速自動車道のサービスエリア、パーキング、茨城空港など広域交通基盤や情報通信基盤の整備により高まった人・物・情報などの交流に対し、それらの施設を活用した情報発信を行いながら、市内への誘導を図り、地域の活力につなげていくことが求められます。 また、生活の質の向上につながる各地域の拠点づくりや市街地整備も同様に求められています。現在、市街地の整備については、岩間駅東地区の土地区画整理事業が進められていますが、高齢化が進む中での市街地の整備・誘導は、新規又は既存のものを問わず、今後のまちづくりにおいて重要な要素となります。 今後は、策定された「笠間市都市計画マスタープラン」などに基づきながら、本市の強みである広域交通基盤を、スロー現象といった弱みに変えることなく、交流を受け止める拠点のネットワーク化を図り、あわせて、人口の構造変化を踏まえ、成長し持続できるまちづくりを進めるため、道路網、公共交通網などを含めた市街地の整備・誘導を進める必要があります。	
施策目標	本市の特性を生かし活力ある地域づくりを目指すため、広域交流拠点や地区生活拠点の強化、ネットワーク化を進め、市内外の交流の活性化を図るとともに、市民の理解と協力を得ながら、市民生活の質の向上につながる魅力ある市街地の整備を進めます。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	・友部駅は立派になったが、駅周辺の街並みに人のにぎわいを感じられない。・再開発を望む。・岩間地区だけが発展されていないとの意見。・赤塚のような発展を願う。・まちづくりの基本は、そこに「人」が集まること、人が住みたくなる施策が第一、魅力的な「まち」のため、どんなことでも排除せず可能性を徹底的に考慮してほしい。
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
市内外の交流が活性化されていると感じている市民の割合	市民実感度	57.480	45.720	45.580	40.610	39.960	0.000
	加重平均値	2.596	2.416	2.480	2.382	2.365	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		84.840	84.940	83.870	87.700	0.000
	加重平均値		3.420	3.314	3.358	3.463	0.000

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
市内各駅の乗降人員数	目標値	人/日		7,050	6,930	6,830	6,740	6,670
	実績値	人/日	7,185	7,013	7,138	7,221	7,089	0
	達成度	%		99.48	103	105.72	105.18	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
広域交流拠点(IC)出入(利用)者数	目標値	台/日		18,000	18,300	18,600	19,100	19,300
	実績値	台/日	17,766	16,414	17,343	16,420	16,565	0
	達成度	%		91.19	94.77	88.28	86.73	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
都市的土地利用率	目標値	%		45.5	-	-	-	45.7
	実績値	%	45.3	46.9	-	-	0	0
	達成度	%		103.08	-	-		0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	広域交通基盤である市内各駅・各インターの利用者数により市内外の交流を把握する。用途地区内の都市的土地利用面積の内宅地化率により把握する。
	目標値設定の考え方	市内各駅の乗降人員数の過去5年平均減少率1.7%を1.0%まで縮減することを目標とした。各インターの利用者数及び、都市的土地利用率については、道路網等を含めた市街地の整備・誘導を進める計画により、微増する目標とした。

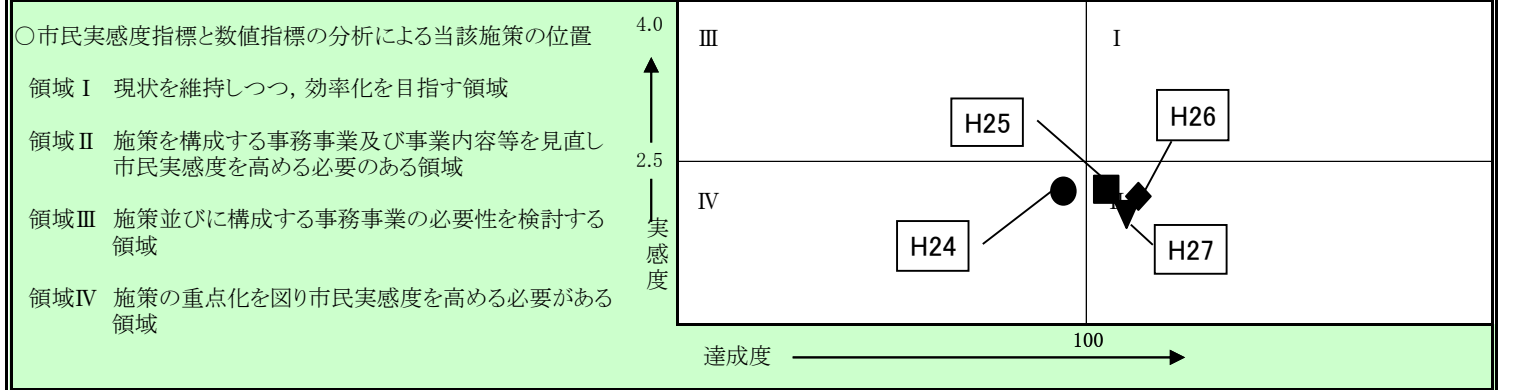
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 ・公共交通を積極的に利用すること。／道路網・公共交通網整備の必要性を理解し協力すること。 ・地域のまちづくりを自ら考え、主体的に関与すること。 ・笠間稲荷門前通り整備についての整備方針策定へ協力すること。 ・ひとりひとりが道徳的規範を守ること、公共の場の利便性や機能が維持できるように努めること。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 ・市民が利用しやすい公共交通の環境作りを事業者へ働きかける。／道路網・公共交通網整備を推進する。 ・地域の合意を図るにあたって、住民意見の相互調整を図る。 ・笠間稲荷門前通り整備方針に基づく整備の実施。 ・便利で安心して利用できる駅前駐車場及び駐輪場の整備と維持管理に努める。

3 平成27年度取組状況

取組状況等	取組内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 ・岩間駅東土地区画整理事業完了 ・各施設の適正な維持管理 ・笠間稲荷門前通り整備工事 L=30mの着工 ・笠間稲荷周辺地区計画決定
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	指標を分析した結果施策目標は達成されたのか ・土地区画整理事業が完了したことにより、良好な宅地を提供することが出来た。 ・笠間稲荷門前通り整備工事、H27年度発注工事であるL=30mが完了し、合計L=282mの供用開始となった。 ・笠間稲荷周辺街並みづくりがトライン(案)を策定した。
-------	---

構成事務事業の適正性	施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か ・構成事務事業における行政の役割は適正であると思われる。 ・笠間稲荷門前通りの街並みづくり及び笠間稲荷周辺の拠点整備を推進するためにも適正であると思われる。
------------	--

残された課題	平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。 ・土地区画整理事業は完了したが、保留地1区画の処分が未了のため、販売を推進する。 ・笠間稲荷周辺地区計画決定の手続き
--------	--

5 今後の方向性

取組方針	平成29年度に向けた施策方針 ・旧井筒屋旅館をまちづくり拠点とした整備を行い笠間稲荷周辺の賑わい創出を図る。 ・笠間稲荷周辺街並みルールの運用による街並みづくりの実施。
------	--

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策名 02 拠点づくりと市街地整備

事業費合計	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3カ年計	3カ年平均
	237,123	187,190	276,012	700,325	233,442

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果						補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
			成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度				
1	開発指導事務	・市内において行われる、敷地面積が1,000㎡を超える宅地開発行為について、笠間市開発事業指導要綱及び都市計画法に規定される技術基準等に基づく審査・許可及び完了検査を行うことにより、地域の実情に応じた開発行為を誘導し、健全で秩序あるまちづくりに寄与する。	101 義務的事業	開発行為の許可	件	26	20	17	市単独	276	49	46	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	
2	建築確認取扱事務	・建築確認申請に関する審査は、本市においては県が管轄するものであるが、本市で把握している部分についての調査を行うことで県と委託契約を締結しており、これに基づいた事務を実施する。また、友部駅前地区において設定されている住居表示区域内に新築された建物について、建築主からの申請に基づき住居表示番号を設定するとともに、問合せ及び申請等について迅速な対応を行っている。	101 義務的事業	年度内建築行為件数	件	11	31	16	市単独	270	301	285	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	
3	県道稲田停車場線歩行者空間整備事業	歴史的資源・芸術・伝統文化をはじめ、自然環境を背景とした多くの観光資源に恵まれた環境拠点として、人と環境にやさしい観光基盤整備を行う。 県道稲田停車場線歩行者空間整備 A=730㎡ L=180m C=52,000千円 H26、H27	102 建設・整備事業	石の百年館年間訪問者	人	0	8,000	13,000	国補助	0	8,565	44,143	01 広域交流拠点づくりの推進	都市計画課	1
4	稲田駅前広場整備事業	歴史的資源・芸術・伝統文化をはじめ、自然環境を背景とした多くの観光資源に恵まれた環境拠点として、人と環境にやさしい観光基盤整備を行う。 稲田駅前広場整備 A=350㎡ C=10,000千円 H26 工事 H27 指標測定	102 建設・整備事業	石の百年館年間訪問者数	人	0	8,000	13,000	国補助	0	1,577	16,006	01 広域交流拠点づくりの推進	都市計画課	1
5	市道(笠)2111号線整備事業	防災・安全社会資本整備交付金(計画5)安心な通学空間を創るまちづくり 歩道整備工事 全体計画 L=610m 歩道幅員 W=2.0~2.5m 排水路の整備を行い通学路の安全を確保し、また笠間芸術の森公園へまでの散策路として整備を行う。	102 建設・整備事業	歩行者の安全確保	m	0	0	0	国補助	0	0	0	01 広域交流拠点づくりの推進	建設課	1
6	市道(笠)0106号線整備事業	防災・安全社会資本整備交付金(計画5)安心な通学空間を創るまちづくり 歩道整備工事 全体計画 L=400m 歩道幅員 W=2.0~2.5m 笠間芸術の森公園から笠間稲荷神社までの散策路として整備を行う。	102 建設・整備事業	観光客の散策路	m	0	0	0	国補助	0	0	0	01 広域交流拠点づくりの推進	建設課	1
7	市道(笠)3592号線整備事業	防災・安全社会資本整備交付金(計画5)安心な通学空間を創るまちづくり 歩道整備工事 全体計画 L=200m 歩道幅員 W=1.5~2.0m 歩道の段差を解消し、通学児童及び観光客の安全を図るための整備を行う。整備区間内は大雨の際、車路及び歩道までが冠水をしてしまうために早急な整備が必要である。	102 建設・整備事業	歩道段差解消	m	0	0	0	国補助	0	0	0	01 広域交流拠点づくりの推進	建設課	1
8	まちづくり交付金評価事業		102 建設・整備事業			0	0	0		0	0	0	01 広域交流拠点づくりの推進	都市計画課	
9	岩間駅東土地区画整理事業繰出金事務	土地区画整理事業を行うために借り入れた合併特例債の元利償還金の特別会計への繰出金である。	103 内部管理事務	元利償還金の償還額	円	4,095,937	4,518,000	4,519,000	市単独	22,461	6,528	4,519	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	1
10	一般会計繰出金事務(岩間駅東区画)	保留地処分金の一般会計への繰出金に係る事務である。	103 内部管理事務			0	0	0	市単独	0	23,789	4,715	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	1
11	地域開発事業債元金償還事務(岩間駅東区画)	土地区画整理事業のための借入金(地域開発事業債)の元金償還事務。	103 内部管理事務	元金返済総額	円	11,940,000	11,940,000	16,380,000		11,940	11,940	16,380	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	1
12	地域開発事業債利子償還事務(岩間駅東区画)	土地区画整理事業のための借入金(地域開発事業債)の利子償還事務。	103 内部管理事務	利子償還総額	円	430,570	340,778	234,125	市単独	431	341	235	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	1
13	合併特例債元金償還事務(岩間駅東区画)	土地区画整理事業のための借入金(合併特例債)の元金償還事務。	103 内部管理事務	元金償還総額	円	3,690,021	4,069,024	4,101,103	市単独	3,690	4,070	4,102	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	1
14	合併特例債利子償還事務(岩間駅東区画)	土地区画整理事業のための借入金(合併特例債)の利子償還事務。	103 内部管理事務	利子償還総額	円	405,916	448,898	416,819	市単独	406	449	417	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	1

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価		
				成果指標①	単位	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成25年度				平成26年度	平成27年度
15	予備費管理事務(岩間駅東区画)		103 内部管理事務	予備費の執行率	%	0	0	0	市単独	0	0	0	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	12
16	岩間地区まちづくり検討事業	岩間市街地北部に位置し、JR常磐線、主要地方道水戸岩間線、笠間市役所岩間支所に囲まれた住居系市街地においては、住居系用途地域が定められているものの、農地や山林などの自然的土地利用を中心としつつ、道路などの都市基盤整備が不十分なまま蚕食的に宅地化が行われている。 本地区の都市整備基盤のうち、幹線道路については、都市計画道路3・4・28土師栄町線と3・4・33日吉町古市線が定められているが、本地区内での整備が行われていないまま長期間を経過し、いわゆる長期未着手路線となっており、本市が平成25年度～26年度に実施した「都市計画道路再検討委員会」における提言では「土地利用並びに既存市街地の主要集散街路の整備等を総合的に判断すること」とされた。 このようなことから、地域住民や土地所有者などの意向を踏まえながら、道路と密接に関係する将来の土地利用の方向性を含めて、幹線道路や補助幹線道路、集散道路などの配置や整備の方向性を検討することで、まちづくりの方針や整備計画を作成するとともに、それにふさわしい整備手法や実現手法を検討する。	104 計画策定事務	まちづくり方針の決定	件	0	0	0	市単独	0	0	6,342	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	7
17	土地区画整理事業推進事務	保留地販売に係る事務で、保留地販売促進紹介料や、草刈委託料、販売促進のための広告料である。	105 維持管理事業	保留地販売	区画	0	3	2	市単独	0	733	306	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	1
18	駅前駐車場管理事業	市内の駅にある駐輪場及び駐車場の管理業務(使用許可、使用料の徴収、施設の見回り)。・有料駐車場:4箇所(笠間駅北、稲田駅前、福原駅前、友部駅前)・有料駐輪場:3箇所(笠間駅北、稲田駅前、友部駅北)・無料駐輪場:5箇所(福原駅前、宍戸駅前、友部駅前、岩間駅西・東口)平成22年度より指定管理者制度導入・笠間駅北駐車場・駐輪場を笠間観光協会に委託・福原駅前駐車場、稲田駅前駐車場・駐輪場をJROB会に委託 無料駐輪場については、業務の一部をシルバー人材センターへ委託。少子化と不況により年々利用者が減少している。また、駐輪場の使用料の有料、無料いずれかへの統一が課題となっている。	105 維持管理事業	定期1月当たりの自動車台数(貸付含)	台	162	180	59	市単独	8,711	8,818	11,440	01 広域交流拠点づくりの推進	市民活動課	
19	友部駅南北自由通路・駅前広場管理事業	友部駅の魅力づけと駅前広場等の整備改善により、交通結節点としての利便性、快適性の向上を目的として整備された施設の適正な維持管理を行う。	105 維持管理事業	利用者からの苦情件数	件	13	7	2	市単独	19,802	18,054	19,110	01 広域交流拠点づくりの推進	管理課	8
20	笠間PA周辺事業	北関東自動車道笠間PA隣接多目的広場を活用しての物販イベントを開催し、笠間PA立寄り者増加を図るため、施設の維持管理を行う。	105 維持管理事業	物販イベント売上高	円	18,016,832	19,818,557	1,830,622	市単独	104	111	111	01 広域交流拠点づくりの推進	管理課	12
21	駅前トイレ管理事業	稲田・福原・宍戸駅前トイレの利用者が安心して利用できるように施設の維持管理を行う。	105 維持管理事業	施設の修繕	件	3	5	0	市単独	1,056	1,130	1,315	01 広域交流拠点づくりの推進	管理課	11
22	岩間駅東西自由通路・駅前広場管理事業	岩間駅の魅力づけと駅前広場等の整備改善により、交通結節点としての利便性、快適性の向上を目的として整備された施設の適正な維持管理を行う。	105 維持管理事業	利用者からの苦情件数	件	9	7	0	市単独	5,865	6,861	6,995	01 広域交流拠点づくりの推進	管理課	8
23	笠間駅北区画整理整備基金事業	笠間駅北区画整理地区内の整備事業に要する資金に充てるため、笠間駅北区画整理整備基金を設置した。笠間駅北区画整理事業終了後に、同組合からの寄附金をもって原資とする基金が創設された。	106 政策的事業	基金積み立て総額	円	3,750	4,000	2,773	市単独	4	5	3	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	12
24	友部駅橋上化及び自由通路整備基金事業	友部駅橋上化、自由通路及び友部駅周辺整備の充実を図るための資金に充てるため設置した基金である。友部友部駅橋上化及び自由通路については、平成20年に完成した。現在は、友部駅周辺整備(南友部地区地区計画内の地区施設(幹線区画道路)の整備)のため基金を活用している。	106 政策的事業	基金積み立て総額	円	47,897	58,897	51,816	市単独	48	59	52	03 安全で快適な市街地・集落地の形成	都市計画課	12
25	笠間稲荷門前通り整備事業	観光拠点である笠間稲荷神社の門前通りに賑わいを創出するため、歩行者に優しく景観に配慮した道路整備工事を実施し、門前通り整備をきっかけに地域の商業者を中心とした活性化を図る。 L=530m W=5.0/10.0m C=335,000千円 H24～H28	106 政策的事業	道路改修の検討	m	530	0	0	国補助	115,168	7,214	61,887	01 広域交流拠点づくりの推進	まちづくり推進課	2
26	笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備事業	笠間稲荷周辺の活性化を図るため、東日本大震災の影響により廃業した笠間観光の顔であった旧井筒屋旅館を中心とし日動美術館や大石邸跡など歴史文化の拠点の整備を行い、地域再生を図り、交流人口の増加による賑わい創出を図る。	106 政策的事業	周辺散策路の整備	m	0	0	0		41,781	13,213	8,813	01 広域交流拠点づくりの推進	まちづくり推進課	4

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
27	笠間稲荷周辺まちづくり拠点管理事業	東日本大震災の影響により廃業した井筒屋旅館を取得した。笠間稲荷周辺の活性化を図るため、笠間稲荷周辺まちづくり拠点施設として整備するまでの間、施設の維持管理及び暫定的な施設の活用を図る。	106 政策的事業	維持管理実施日数	日	154	144	240	市単独	1,724	1,343	889	01 広域交流拠点づくりの推進	まちづくり推進課	9
28	笠間稲荷門前通りまちづくり推進事業	笠間稲荷周辺地区において、道路修景整備を契機に永続的な観光拠点づくりを推進し賑わい創出を図るため、住民組織である「笠間のまちと通りのこれからをみんなで考える会(通称:かさまち考)」を中心とした活性化事業に取り組む。	106 政策的事業	ワークショップ参加人数	人	268	150	38	市単独	194	2,014	2,007	01 広域交流拠点づくりの推進	まちづくり推進課	2
29	(廃止)市街地活性化基礎調査事業	本事業は、市街地の活性化に向けた各種取り組みを企画・立案するうえで必要不可欠な地区現状の把握及び分析を行い、本地区における課題を抽出・整理するための基礎的な調査の実施を目的とする。また、本調査により得た結果は、庁内関係各課はもちろんのこと地域住民や関係事業者、関係機関と、市街地の活性化に向けた将来像とまちづくりの進め方(各整備計画)について、より具体的な議論を進め、新たな取り組み(事業)を創出するための基礎資料として活用していく。	106 政策的事業	調査結果	式	0	1	0	県補助	458	23,086	0	01 広域交流拠点づくりの推進	企画政策課	-
30	市街地活性化推進事業	笠間市駅周辺整備活性化プランに基づいた各種事業の推進及び3地区(友部、笠間、岩間)市街地の活性化策の総合的な検討及び推進するとともに、大学連携による都市ブランドの向上及び若者の市内への引きこみ等を目的に、市全体のコンセプト形成から各地域のデザイン形成を複数年度に渡り実施する。	106 政策的事業			0	293	0	国補助	2,734	9,268	4,006	02 地区生活拠点づくりの推進	企画政策課	H27事業の組換えにより削除
31	笠間モデル創出戦略事業(緊急)(繰越)	人口減少、少子化・高齢化にある中で、老朽化するインフラ、経済の停滞といった現状にあって、多様な価値観をもつ生活者に対するサービス提供を継続していく必要がある。そのため、持続可能な都市の構築に向けて、都心と本市における新たな交流スタイルの確立と新たな暮らし方の提案につながる取組を進める。	106 政策的事業			0	0	0		0	0	0	02 地区生活拠点づくりの推進	企画政策課	4
32	笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備事業(繰越)	笠間稲荷周辺の活性化を図るため、東日本大震災の影響により廃業した笠間観光の顔であった旧井筒屋旅館を中心とし日動美術館や大石邸跡など歴史的文化的拠点の整備を行い、地域再生を図り、交流人口の増加による賑わい創出を図る。	106 政策的事業	周辺散策路の整備	m	0	0	0		0	0	0	01 広域交流拠点づくりの推進	まちづくり推進課	4
33	笠間稲荷門前通り整備事業(繰越)	観光拠点である笠間稲荷神社の門前通りに賑わいを創出するため、歩行者に優しく景観に配慮した道路整備工事を実施し、門前通り整備をきっかけに地域の商業者を中心とした活性化を図る。 L=530m W=5.0/10.0m C=335,000千円 H 24~H28	106 政策的事業	道路改修の検討	m	530	0	0	国補助	0	37,672	56,363	01 広域交流拠点づくりの推進	まちづくり推進課	2
34	駅周辺活性化推進事業	笠間市駅周辺整備活性化プランに基づき各施設の整備事業等を推進している中で、総合調整及び各整備事業の効果を促進する事業を展開する。	106 政策的事業	駅利用者数	人	0	0	0	国補助	0	0	2,370	01 広域交流拠点づくりの推進	企画政策課	1
35	緊急雇用(駅周辺活性化プラン推進事業)	緊急雇用創出事業として、駅周辺整備活性化プランの推進に関する業務を補助する臨時職員を1名雇用した。	106 政策的事業	雇用者	人	0	0	0	国・県補助	0	0	1,275	01 広域交流拠点づくりの推進	企画政策課	H27で終了
36	事業効果分析事業	国土交通省所管補助事業社会資本整備総合交付金(都市再生事業)の笠間芸術の森公園及び愛宕山周辺整備事業が、5カ年計画の最終年度となり、その事業全体の効果を分析する業務。 笠間芸術の森公園及び愛宕山周辺整備事業 H23~H27 C=736百万円 主な事業 ギャラリーロード整備事業、笠間地区浸水対策事業、石の百年間整備事業、北山公園整備事業	106 政策的事業	各要素事業の整備	件数	0	0	18	国補助	0	0	1,880	01 広域交流拠点づくりの推進	建設課	5
37	笠間CCRC推進事業(加速化交付金)	人口減少、少子化・高齢化にある中で、老朽化するインフラ、経済の停滞などの課題が山積している。その中で、アクティブシニアを中心として、首都圏からの移住促進を図り、高齢化の中での新たなコミュニティの形成、暮らしの提案につながる取組を推進する。	106 政策的事業	入居者	人	0	0	0		0	0	0	02 地区生活拠点づくりの推進	企画政策課	H28に全額繰越
38	シェアタウン推進事業(加速化交付金)	人口減少、少子化・高齢化にある中で、老朽化するインフラ、経済の停滞などの課題が山積している。その中で、多様な価値観をもつ生活者に対するサービス提供を継続していくため、首都圏と本市の資源を共有する新たな交流スタイルの確立を進める。	106 政策的事業	拠点での交流者数	人	0	0	0	国補助	0	0	0	01 広域交流拠点づくりの推進	企画政策課	H28に全額繰越

シート1 施策内事務事業目的直結度評価

施策名 拠点づくりと市街地整備



義務的・事業、内部事務事業
開発許可関係事務 建築確認申請等関係事務

シート2 施策内事務事業貢献度評価

施策名 拠点づくりと市街地整備

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- 非常に高い 1
- 高い 2 3
- 中 4 5 6
- 低い 7 8 9

1	2	4
県道稲田停車場線歩行者空間整備事業 稲田駅前広場整備事業 岩間駅東土地区画整理事業繰出金事務 一般会計繰出金事務(岩間駅東区画) 地域開発事業債元金償還事務(岩間駅東区画) 地域開発事業債利子償還事務(岩間駅東区画) 合併特例債元金償還事務(岩間駅東区画) 合併特例債利子償還事務(岩間駅東区画) 土地区画整理事業推進事務 防災・安全社会資本整備交付金(安心な通学空間を創るみちづくり)市道(笠)2111号線, 市道(笠)0106号線, 市道(笠)3592号線	笠間稲荷門前通り整備事業 笠間稲荷門前通りまちづくり推進事業 笠間稲荷門前通り整備事業(繰越)	笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備事業 笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備事業(繰越)
3	5	7
	事業効果分析事業	岩間地区まちづくり検討事業
6	8	10
	友部駅南北自由通路・駅前広場管理事業 岩間駅東西自由通路・駅前広場管理事業	
9	11	12
笠間稲荷周辺まちづくり拠点管理事業	駅前トイレ管理事業	予備費管理事務(岩間駅東区画) 笠間駅北区画整理整備基金事業 友部駅橋上化及び自由通路整備基金事業 笠間PA周辺事業

成果は高い (上位)

成果はやや高い (中位)

成果は普通 (中位)

成果は低い、ほとんど出ていない
若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア

義務的事業, 内部事務事業

事務事業の成果基準の説明